

令和4年度第1回太宰府市介護保険運営協議会 議事録

日時：令和4年6月23日（木）19：00～19：45

場所：市役所3階 庁議室

【出席】

（委員） 渡邊会長・伊藤委員・石井委員
松田委員・佐伯委員・江口委員・後藤委員
（事務局） 行武理事・友田統括・立石課長・柳谷係長
大山係長・淵上係長・糸山係長・垣内

【欠席】

（委員） 浦山委員・鹿子生委員

【傍聴人】 1名

今回の運営協議会でも、引き続き新型コロナウイルス感染症対策の一環として、時間短縮のため、議題に沿って委員からの事前質問について回答を行い、質問がなかった資料については事務局から簡単に説明を行いました。

議題1 令和3年度事業報告及び決算見込について

介護保険事業及び地域支援事業について、令和3年度における事業実績及び決算見込について報告しました。決算は、9月議会で議決されるので、現時点では見込である旨承諾を得ました。

【質問】 近隣市との比較を見ると、太宰府市の認定率が高くなっています。このことについて要支援2・要介護1の数が多く感じます。介護予防対策が数多くとられているが、効果が上がっているかの効果測定をどのようにとらえられて実践されているのかを教えてください。

【回答】 ご指摘のとおり、認定率は筑紫地区では一番高い数字となっています。また、要支援2・要介護1の方の割合は全体の37.3%であり、この区分については、他の4市も同様に比率が高くなっています。

効果測定の際は、これまでの教室は楽しく参加でき、閉じこもり予防につながることを重視し、評価方法としては参加者数や開催数をあげていました。しかし、ご指摘のとおり介護予防効果を高めるためには身体機能面の評価も必要であると考え、令和4年度の教室から体力測定を実施しています。今年度6月より実

施しています「すこやか運動教室」は予約制に変更し、個人が全 10 回の教室に参加することができ、初日と最終日に体力測定を実施し、検証していきます。

【質問】 コロナ禍で利用控えが起こっているのか、前年度比較で支払等が低くなっている気がします。そのため、資料 1-1 での認定率が上がっていると考え、適切な支援をもう少し必要な方が受けられていない可能性があるのかと察するのですが、その点についてのご意見はいかがでしょうか。

【回答】 コロナ禍で各種の介護予防教室は令和 2 年 3 月から 6 月まで中止しました。7 月から人数制限、時間短縮で再開したものの、令和 3 年度は感染者の拡大やワクチン接種により会場の確保ができず、定期的な教室を開催することはできませんでした。その間の代替措置や事業については、令和 2 年度は前年度の参加者に電話で近況の様子を確認したり、また「自宅で取り組めるフレイル予防」というチラシを送付したり、訪問して配付したりしました。令和 3 年度につきましては、感染者が落ち着いた時期に「フレイルチェック講座」や「まほろば令和体操」の DVD を作りましたので、その DVD を使った教室を開催しました。このようにコロナ禍で色々と制限があった中でも、できる範囲で代替事業を実施してきました。しかしながら、コロナ禍が長引いており、教室の開催についても人数に制限を設けるなどの対策が続いておりますので、教室以外でのアプローチ方法も引き続き検討していき、必要な方に必要な支援を提供できるよう調査研究を努めます。今後は、令和 3 年度に実施した「高齢者在宅生活状況把握等調査」で得た情報をもとに今後の事業展開を検討していく必要があると考えます。

【意見】 コロナ禍で自宅に閉じこもっている高齢者はたくさんいると思いますので、教室以外の方法で家の外に出てもらおう必要があると思います。非常に難しいと思いますが、在宅調査のデータも活用しながらぜひ対策をご検討ください。

【意見】 予防の効果判定は非常に大切だと思いますので、調査結果も活用して検証してください。

議題 2 令和 4 年度事業計画及び予算について

介護保険事業及び地域支援事業について、令和 4 年度における事業計画及び予算について報告しました。

【質問】 コロナ災禍で、民生委員さんたちが訪問に行くことが出来ないことも増えているとお聞きします。他市ではタブレット等を利用した安否確認等の開発が行われて

いますが太宰府市では、どのような取り組みをされているのか、もしくは計画等の中には組み込まれているのでしょうか。

【回答】 この質問に関しては、

資料4 P5 第3節支援体制の充実 「3 見守りサービスの充実」

P6 第3節支援体制の充実 「4 在宅生活を支えるサービスの充実」

に記載しています。

まず一つ目の「見守りサービスの充実」からご説明いたします。

緊急通報装置設置事業につきましては、65歳以上のひとり暮らしの高齢者宅に、簡単な操作で24時間受信センターに連絡できる通報機器を設置し、看護師等の専門の資格を持った相談員が緊急時の対応等を行い、不安軽減を図っています。令和3年度末現在において147台を設置しています。

見守り協定推進事業につきましては、各家庭を訪問する機会の多い事業者が、日常業務を通じて、ひとり暮らしの高齢者等の何らかの異変を察知した場合、市に通報していただくことにより、問題の早期発見につなげ、高齢者等の安全安心な生活を支援しています。令和3年度末現在において30の事業所と協定等を締結しています。

続いて二つ目の「在宅生活サービスを支えるサービスの充実」についてご説明します。

生活支援体制整備事業につきましては、これから作り上げる地域の支え合いの体制づくりの中で、見守り体制を作り上げていくということです。

配食サービス事業につきましては、65歳以上のひとり暮らしの高齢者または高齢者のみの世帯で、加齢等により買い物や調理が困難であり、安否確認が必要な方に対し、夕食として栄養バランスを考えたお弁当を手渡しで配達し、食事確保の支援と利用者の安否確認を行っています。

【意見】 太宰府市では民生委員の方が熱心にご自宅を訪問していただいて見守りをしてくださっていると認識しているんですが、福岡市では、民生委員の接触が難しい人が増加しているそうです。今後は、太宰府市でも人口増加に伴い接触が難しい高齢者の方も増えてくると思われますので、そういった場面への対策も必要になるかと思ます。

【意見】 民生委員の立場としては、介護予防手帳にも書いてありますが、高齢者の一人暮らしや夫婦のみの世帯において、夜間休日の連絡先である「あんしんダイヤル」を高く評価しています。高齢者にとって、一番心配なのは夜間・休日なので、夜

間に連絡する先があるのはありがたいです。このような取り組みもしているの
で、ぜひともしっかりアピールしてもらいたいと思います。

【質問】 介護予防手帳はどのくらい行き渡っているのですか？

【回答】 かなりの数を配布していると思います。公民館にも置いてあります。

【質問】 あんしんダイヤルはかけるとどこに繋がるのですか？

【回答】 山口県周南市にある業務委託先です。

【意見】 本部の専門スタッフが常時待機していて、登録してある家族に連絡を取ったり、
状況に応じて救急車を手配してくれますので安心です。

【意見】 ぜひ活用できるように、周知して行ってください。

【質問】 第2層協議体等の活動について、令和4年度の事業計画での数値目標を教えてください。

【回答】 第2層協議体設置数としましては、中学校校区に合わせ4圏域に設置が求められて
います。現在、太宰府東中学校校区については設置していますが、それ以外の
圏域は未設置の状態です。委託先の太宰府市社会福祉協議会様と協議のうえ、年
度当初に年間の活動計画を作成し、事業を推進しています。令和4年度は、未設
置の地区への第2層協議体の設置を目標としています。

議題3 令和4年度地域密着型サービス事業者公募について（経過報告）

第8期計画に基づいて、「認知症対応型共同生活介護」及び「看護小規模多機能型居宅
介護」の2つの事業について公募を行い、「認知症対応型共同生活介護」で1社応募があ
り、看護小規模多機能型居宅介護は応募がなかった旨と今後の予定を報告しました。

【意見】 看護小規模多機能型居宅介護については希望がなかなかないですね。

【回答】 圏域を限定していることもあってなかなか応募がない状況です。

議題4 太宰府市高齢者支援計画（高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画）の令和3年度報告と令和4年度予定について

【質問】 避難行動要支援者避難支援制度について、令和3年度の取り組み成果として、1,119名が登録申請され、3月に自治会長及び民生委員に名簿が配布されました。

1. 要支援者一人ひとりに対する「避難支援者（2名）」の配置はどのように推進していくのでしょうか。数多くの避難支援者が無記入のまま名簿配布されています。今後の推進計画を示してください。1,119名中何名記載がありますか？
2. 要支援者一人ひとりごとの「個別避難計画」を策定することとされています。自治会長、民生委員への指導をお願いします。
3. 名簿の配布以降、市（防災安全課）から自治会長、民生委員に対する具体的な取り組み方法の指導が大切と考えています。早急に登録申請された要支援者名簿を災害に備えて効果的に活用するため、名簿の運用推進等を示してください。

【回答】 こちらの質問に関しては、担当課である防災安全課に確認しましたので、その内容を回答いたします。

一つ目に、支援をしていただける方の登録者は、令和4年3月末時点で174名と少ない状況です。今後は、支援者の確保のために、民生委員、自治会長のほか、例えば自治会の役員や自主防災組織、隣組長など、地域の皆様にご理解とご協力をお願いしていきたいと考えています。

今後の推進計画ですが、令和4年度中に具体的な避難方法等の体制づくりについて、地域の皆様と取り組んでまいります。名簿更新作業は2年に1度行っていくこととしています。

二つ目に、支援をしていただける方を決めた後に、支援を必要としている方ご本人の状況に合わせて、避難場所の経路などの具体的な避難方法を検討していくことで、進めていただきたいと考えています。三つ目に個人情報を除く、避難の支援に必要な最低限の情報として、住所、氏名、年代、連絡先のほか、ゆっくりしか歩けない、耳が悪いなどの身体状況を共有することとしています。

【質問】 住民の避難所設置等について、コロナ災禍での設置運営のシミュレーションが行われているのか教えていただければ助かります。

【回答】 新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営マニュアルを作成しています。また発熱者の方向けの動線を確保している避難所が4か所あります。なお、間仕

切りや段ボールベッドの組立について、職員向けの訓練も令和2年度にすでに行っています。

【意見】防災安全課が頑張っていて、久しぶりに名簿が更新されて今年の3月に自治会に配布されたのですが、それ以降の具体的な指導がなかなか伝わってこない。避難支援者は登録者の1,000名以上の人が未記入の状態です。この「避難支援者2名をしっかりと配置していく」という指導をきっちり下ろしてもらわないと、名簿をポンともらっただけでは自治会も民生委員もどう対応してよいかかわからない。6月からは各校区の協議会において、防災安全課からの説明が始まっていると聞くので、一歩前進はしているなど感じているが、すでに梅雨にも入っているので、急いで対応してもらいたい。

また、別の委員からも指摘のあった避難所運営のシミュレーションについてですが、静岡県で実施されている「ハグ訓練」というのがある。実際の緊急事態では、市も県も間に合わないので、自治会単位で避難所を運営することになる。そのような事態に備えて、自治会単位でシミュレーションについても、市主導でぜひ始めていってほしいと思います。

【意見】コロナの状況において、避難場所が確実に足りないということがどの自治体でも生じているとお聞きしています。実際にシミュレーションしておかないと、なかなか周りの方々にわかっていただけない。太宰府の中でも大きな避難所は数か所しかないと思いますので、シミュレーションしておかないと実際に避難所に入れず出されてしまう人が生じてしまうと思います。特に高齢者や支援が必要な方々が入れる福祉施設等の場所をある程度確保しておかないと、問題は解消しないと思います。44ある自治会においても避難所シミュレーションをしているところとしていないところの差が激しく出てしまうと思います。また、民生委員や自治会の方々が頑張っておられると思うのですが、やはり50代、60代の若い人たちの協力がないと、難しい場面が多々あります。消防団の方々の人数も減っているとお聞きしていますが、消防団の方々、民生委員、自治会、若い世代の方々と協力して避難所運営できるよう、難しいと思いますが、今後ご検討いただければと思います。

議題5 第9期計画策定スケジュールについて

次期第9期計画の策定スケジュールについて、報告しました。

【閉会】。